

第22回分子予防環境医学研究会大会 プログラム

【1日目】2023年1月19日(木)

於：東京理科大学 森戸記念館

9:10 受付

9:30 開会のあいさつ

9:40-11:10 【一般演題】 第1部 創薬・オミックス

座長 松島 綱治(東京理科大学 生命医科学研究所 炎症・免疫難病制御部門)
大迫 誠一郎(東京大学大学院 医学系研究科 疾患生命工学センター)

1. 次世代型 GPCR 創薬の実現を目指して
寺島 裕也 (東京理科大学 生命医科学研究所 炎症・免疫難病制御部門)
2. アロディニアを呈する担癌モデルマウスを用いたジスルフィラムの鎮痛効果
藤塚 亮次 (東京理科大学 生命医科学研究所 炎症・免疫難病制御部門、
東京理科大学 薬学部 薬学科 薬理学研究室)
3. 呼気オミックスから空間オミックス解析への展開
井田 智章 (東北大学大学院医学系研究科環境医学分野)
4. Role of oxidative stress and caspase-8 in non-cell autonomous mechanisms of acrylamide-induced neurodegeneration
Cai Zong (Faculty of Pharmaceutical Sciences, Tokyo University of Science)
5. 潰瘍性大腸炎の RNA-seq データを用いたアリアルハイドロカーボン受容体関連遺伝子に関するデータドリブン研究
本田 恭平 (東京理科大学大学院薬学研究科)
6. 血中レジスチン濃度の人種横断型エピゲノムワイドメタ解析による新規 DNA メチル化サイトの同定
中枋 昌弘 (名古屋大学大学院 医学系研究科 実社会情報健康医療学講座)

11:20-13:00

昼食休憩

13 : 00－13 : 30 総会

13 : 30－14 : 30 【特別講演】

座長 市原 学（東京理科大学薬学部 環境労働衛生学）

「衛生薬学的発想と手法で環境問題に挑む」

熊谷 嘉人

（筑波大学医学医療系 環境生物学分野）

14 : 45－17 : 45 【特別シンポジウム】

座長 市原 学（東京理科大学薬学部 環境労働衛生学）

14 : 45－15 : 15 序論

15 : 15－15 : 40

「わが国の職場における化学物質管理施策の動向とリスク評価研究」

武林 亨（慶應義塾大学 医学部 衛生学公衆衛生学）

15 : 40－16 : 05

「産業衛生における実験研究の役割」

市原 佐保子（自治医科大学 医学部 環境予防医学講座）

16 : 05－16 : 30

「人を対象とする衛生学・毒性学研究に基づく実験研究の展開」

堀口 兵剛（北里大学医学部衛生学）

16 : 30－16 : 45 ディスカッションと中間まとめ

17 : 00－17 : 25

"The Origins of Alzheimer's Disease: Underlying Mechanisms and Potential Treatments"

Lang Tran（Institute of Occupational Medicine, Edinburgh (UK)）

17 : 25－17 : 40 まとめ

【2日目】2023年1月20日(金)

於：東京理科大学 森戸記念館

9:00 開場・受付

9:20-10:20 【一般演題】 第2部 がん

座長 平工 雄介 (福井大学学術研究院医学系部門 環境保健学分野)

7. BRCA1 ハプロ不全はフェントン反応を基盤とする発がんにおいてフェロトーシス抵抗性と染色体増幅を促進する
豊國 伸哉 (名古屋大学大学院医学系研究科生体反応病理学)
8. Fscn1 陽性樹状細胞による抗腫瘍 CD8⁺ T 細胞クローン応答制御
新谷 知広 (東京理科大学 生命医科学研究科 炎症・免疫難病制御部門)
9. 1,2-ジクロロプロパン経口投与がマウス肝に与える影響及び Nrf2 の役割
木村 優介 (東京理科大学 薬学部 環境労働衛生学)
10. ジクロロプロパン、ジクロロメタン、トリクロロプロパンによるヒト胆管細胞DNA損傷
草ヶ谷 京士郎 (東京理科大学大学院 薬学研究科)

10:30-11:15 【一般演題】 第3部 感染

座長 澤 智裕 (熊本大学大学院生命科学研究部微生物学講座)

11. 亜鉛欠乏の腸管免疫機能低下による肝臓へのバクテリアトランスロケーションの発生
木戸 尊將 (東京慈恵会医科大学医学部環境保健医学講座)
12. SARS-CoV-2 5'UTR RNA とヒトの脂質代謝過程との相互作用について
清水 由梨香 (川崎医科大学 衛生学)
13. 腸管出血性大腸菌毒素 SubAB の毒性発現に関与する宿主レドックス調節の解析
津々木 博康 (熊本大学大学院、生命科学研究部、微生物学講座)

11:20-13:00

昼食休憩

13 : 00 – 14 : 00 【教育講演】 (次期大会長講演)

座長 市原 学 (東京理科大学薬学部 環境労働衛生学)

「産業化学物質による発がんの分子機構と今後の実験研究の役割」

平工 雄介

(福井大学学術研究院医学系部門 環境保健学分野)

14 : 10 – 15 : 10 【一般演題】 第4部 肺炎症

座長 西村 泰光 (川崎医科大学衛生学)

14. Clot biopsy is useful for evaluating lung inflammation

吉田 安宏 (産業医科大学医学部免疫学・寄生虫学講座)

15. Modeling bleomycin-induced lung injury using primary murine cell-derived lung organoids

Wu Bin (東京理科大学 生命医科学研究所 炎症・免疫難病制御部門)

16. ナノマテリアル曝露による肺への影響とその炎症誘導機構の検討

滝澤 亮哉 (自治医科大学医学部環境予防医学講座)

17. 非晶質シリカナノ粒子による細胞傷害メカニズムの検討

山崎 京香 (東京理科大学薬学部 環境労働衛生学)

15 : 20 – 16 : 20 【一般演題】 第5部 神経・血管

座長 市原 佐保子 (自治医科大学 医学部 環境予防医学講座)

18. Impact of Benzo[a]pyrene exposure on Central Nervous System of Mice

Walaa SH. Abd El Naby (Faculty of Pharmaceutical Sciences, Tokyo University of Science)

19. Deletion of *IL-1β* Enhances Acrylamide-Induced Neurotoxicity in Mice

Alzahraa Fergany (Faculty of Pharmaceutical Sciences, Tokyo University of Science)

20. 喫煙により DNA メチル化が低下するゲノム領域のマウス相同領域におけるメチル化解析

三瀬 名丹 (自治医科大学 医学部 環境予防医学講座)

21. Endoplasmic reticulum stress is inhibited by *RNF213* suppression, a susceptibility gene for moyamoya disease

Sharif Ahmed (三重大学大学院 医学系研究科 環境分子医学)

16 : 30 – 17 : 15 【一般演題】 第 6 部 ケミカルバイオロジー
--

座長 赤池 孝章 (東北大学大学院 医学系研究科 環境医学分野)

22. 環化超硫黄分子の生体内検出とエネルギー代謝機能の解明

松永 哲郎 (東北大学大学院医学系研究科 環境医学分野)

23. 超硫黄触媒酵素: アルコールデヒドロゲナーゼ 5 (ADH5) による NO シグナル機能の制御メカニズム

守田 匡伸 (東北大学大学院医学系研究科 環境医学分野)

24. OH 基を有する化合物の標的タンパク質同定法の開発と作用機序解明

飯泉 陽介 (京都府立医科大学大学院医学研究科分子標的予防医学)

17 : 15 若手優秀研究発表賞の発表 および 閉会のあいさつ